エコアクション21
環境活動レポート
（2017年度）
活動期間2017年4月～2018年3月

仁尾興産株式会社
発行日 2018年7月20日
目次

1. 組織の概要及び対象範囲
   1）事業所の所在地及び代表者氏名
   2）所在地
   3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
   4）事業内容
   5）事業の規模
   6）事業年度
   7）認証・登録範囲

2. 実施体制
   1）エコアクション21推進組織図
   2）各自の役割・責任及び権限

3. 環境方針

4. 環境目標
   1）本社（化成品事業部・管理部（不動産事業含む））
   2）坂出冷蔵倉庫

5. 環境活動計画
   1）本社（化成品事業部・管理部（不動産事業含む））
   2）坂出冷蔵倉庫

6. 環境目標の実績
   1）本社（化成品事業部・管理部（不動産事業含む））
   2）坂出冷蔵倉庫

7. 環境活動計画の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容
   1）本社（化成品事業部・管理部（不動産事業含む））
   2）坂出冷蔵倉庫

8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び、評価の結果、並びに訴訟等の有無

9. 代表者による全体評価と見直しの結果
1. 組織の概要及び対象範囲（認証・登録範囲）

□ 組織の概要
(1) 名称及び代表者

仁尾興産株式会社
代表取締役 塩田 健一

(2) 所在地

本社
香川県三豊市仁尾町仁尾辛1番地
化成工場
香川県三豊市仁尾町仁尾辛1番地
東京営業所
東京都新宿区新宿4-3-17
FORECAST新宿SOUTHビル6階
坂出冷蔵倉庫
香川県坂出市入船町1丁目4番1号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 高橋 寛光
EA21事務局 合田 壽江
TEL:0875-82-3456

(4) 事業内容

塩化マグネシウム（にがり）の製造・販売業
冷凍冷蔵倉庫業
不動産業

(5) 事業の規模

【資本金】 7,350万円
【総売上高】 10億3千万円（2017年4月1日〜2018年3月31日）
化成品事業 8億4千万円（東京営業所売上含む）
倉庫事業 1億2千万円
不動産事業 7千万円

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>本社（不動産事業含む）</th>
<th>化成工場</th>
<th>東京営業所</th>
<th>坂出冷蔵倉庫</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>従業員</td>
<td>8名</td>
<td>32名</td>
<td>1名（本社兼任）</td>
<td>7名</td>
</tr>
<tr>
<td>延べ床面積</td>
<td>486.49㎡</td>
<td>9,462.99㎡</td>
<td>1㎡</td>
<td>5,680.82㎡</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(6) 事業年度

4月〜3月

(7) 認証・登録範囲

登録事業所：本社
化成工場
坂出冷蔵倉庫
東京営業所
2. 実施体制

1）エコアクション21推進組織図【2017年度】

代表取締役
塩田 健一

環境管理
責任者
高橋 寛栄

EA21事務局
合田寿江

化成品事業部
工場責任者
藤井正敏

生産課
責任者
EA21推進者

業務課
責任者
EA21推進者

品質管理課
責任者
EA21推進者

営業課
責任者
EA21推進者

管理課
責任者
東京営業所

管理部
管理部
責任者
EA21推進者

冷蔵倉庫
責任者
EA21推進者
<table>
<thead>
<tr>
<th>代表取締役</th>
<th>役割・責任・権限</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>・環境経営に関する統括責任</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境経営システムの実地に必要な、人、設備、費用、時間を準備</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境管理責任者を任命</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・代表者による全体の評価と見直しを実施</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境活動レポートの承認</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境関連法規等取りまとめ表の承認</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境目標、環境活動計画書を承認</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル承認</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>環境管理責任者</th>
<th>役割・責任・権限</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>・環境経営システムの構築、実地、管理</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境活動の取り組み結果を代表者に報告</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境関連法規等取りまとめ表の作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境活動レポートの確認</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境目標、環境活動計画書の確認</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル確認</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・全従業員に対する教育・訓練の実績記録表の承認</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置票管理表の作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境関連の外部コミュニケーションの記録受付表承認</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>エコアクション21事務局</th>
<th>役割・責任・権限</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>・環境管理責任者の補佐</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境活動レポートの作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェック実地</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境目標、環境活動計画書原案の作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境目標、環境活動の実績集計</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・全従業員に対する教育・訓練の実績記録表の作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置票管理表の作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口・記録受付表作成</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>管理部</th>
<th>役割・責任・権限</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>自部門に関連する環境活動計画の実地及び達成状況の報告</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実地</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>化成品事業部管理課</th>
<th>役割・責任・権限</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>自部門に関連する環境活動計画の実地及び達成状況の報告</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実地</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>化成品事業部営業課 (東京営業所含む)</th>
<th>役割・責任・権限</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>自部門に関連する環境活動計画の実地及び達成状況の報告</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実地</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>化成品事業部生産課</th>
<th>役割・責任・権限</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>自部門に関連する環境活動計画の実地及び達成状況の報告</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実地</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>化成品事業部品質管理課</th>
<th>役割・責任・権限</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>自部門に関連する環境活動計画の実地及び達成状況の報告</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実地</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>化成品事業部業務課</th>
<th>役割・責任・権限</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>自部門に関連する環境活動計画の実地及び達成状況の報告</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実地</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>坂出冷蔵倉庫</th>
<th>役割・責任・権限</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加</td>
</tr>
</tbody>
</table>
3. 環境方針

環境方針

1. 当社は、社員一丸となり、あらゆる企業活動を通じて、環境保全への取り組みを積極的に実施し、環境への負荷を低減するように努めます。

2. 環境や食品安全に関する法律、規制、協定などを遵守します。

3. 事業活動における二酸化炭素（CO₂）、廃棄物、排水量などの排出抑制および削減に努めます。

4. 食品（食品添加物）廃棄物の削減を推進します。製品の歩留まり向上と使用原材料のロスの削減を推進します。

5. グリーン製品購入を計画的に進めます。

6. 日常業務や社内教育を通じて、環境保全活動に対する社員の理解と意識の向上に努めます。

7. 環境レポートを公表し、透明性のある環境保全活動に努めます。

2012年10月1日
仁尾興産株式会社
代表取締役
痤田健一
4. 環境目標
1) 本社（化成品事業部・管理部（不動産事業含む））

<table>
<thead>
<tr>
<th>目的</th>
<th>単位</th>
<th>基準年（2015年度）</th>
<th>2016年度</th>
<th>2017年度</th>
<th>2018年度</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>二酸化炭素の削減  *1</td>
<td>kg-CO₂</td>
<td>1,640,980</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>二酸化炭素排出量／総生産量</td>
<td>kg-CO₂/t</td>
<td>168.32</td>
<td>168.21</td>
<td>168.10</td>
<td>168.00</td>
</tr>
<tr>
<td>重油CO₂排出量</td>
<td>kg-CO₂</td>
<td>1,426,620</td>
<td>1,362,690</td>
<td>1,382,400</td>
<td>1,402,700</td>
</tr>
<tr>
<td>重油CO₂排出量／塩マグ生産量</td>
<td>kg-CO₂/t</td>
<td>216.38</td>
<td>216.30</td>
<td>216.00</td>
<td>215.80</td>
</tr>
<tr>
<td>廃棄物排出量の削減</td>
<td>kg</td>
<td>48,610</td>
<td>48,500</td>
<td>48,000</td>
<td>48,000</td>
</tr>
<tr>
<td>食品（食品添加物）廃棄物のリサイクル率</td>
<td>%</td>
<td>100.00</td>
<td>99.50</td>
<td>99.50</td>
<td>99.50</td>
</tr>
<tr>
<td>水総使用量削減</td>
<td>m³</td>
<td>11,888</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>水総使用量／総生産量</td>
<td>m³/t</td>
<td>1.22</td>
<td>1.20</td>
<td>1.20</td>
<td>1.20</td>
</tr>
<tr>
<td>グリーン購入の推進</td>
<td>グリーン対象品金額／事務用品金額（％）</td>
<td>35</td>
<td>35</td>
<td>40</td>
<td>40</td>
</tr>
<tr>
<td>組織本来の取組（環境配慮）</td>
<td>件数</td>
<td>3</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>総生産量</td>
<td>t</td>
<td>9,749</td>
<td>9,300</td>
<td>9,400</td>
<td>9,500</td>
</tr>
<tr>
<td>塩マグ生産量（重油使用製品）</td>
<td>t</td>
<td>6,593</td>
<td>6,300</td>
<td>6,400</td>
<td>6,500</td>
</tr>
</tbody>
</table>

*1  基準年を2015年とする（坂出冷蔵倉庫の取組組織拡大に伴う）

*2  電力のCO₂発生量については、
四国電力の実排出係数0.676(kg-CO₂/kwh)を使用した。
（四国電力発表2014年度実績に基づく）

*3  2014年東京営業所開設。
他社共有フロアー1デスクでの営業（常在している）となるため、環境負荷は極めて小さい。
### 4. 環境目標

2) 坂出冷蔵倉庫

<table>
<thead>
<tr>
<th>目的</th>
<th>営業年度</th>
<th>単位</th>
<th>目標 (2015年度)</th>
<th>2016年度</th>
<th>2017年度</th>
<th>2018年度</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>二酸化炭素の削減 * 1</td>
<td>kg-CO₂</td>
<td>625,930</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>二酸化炭素排出量/売上高</td>
<td>kg-CO₂/千円</td>
<td>5.88</td>
<td>5.80</td>
<td>5.75</td>
<td>5.70</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>廃棄物排出量の削減</td>
<td>kg</td>
<td>300</td>
<td>1,200</td>
<td>1,100</td>
<td>1,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>水総使用量の削減</td>
<td>m³</td>
<td>4,950</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>水総使用量/売上高</td>
<td>m³/千円</td>
<td>0.046</td>
<td>0.045</td>
<td>0.045</td>
<td>0.045</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>グリーン購入の推進</td>
<td>グリーン対象品金額/事務用品金額(%)</td>
<td>20</td>
<td>30</td>
<td>40</td>
<td>40</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>組織全体の取組（環境配慮）</td>
<td>件数</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>売上高</td>
<td>千円</td>
<td>106,497</td>
<td>107,000</td>
<td>110,000</td>
<td>112,000</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

*1. 基準年を2015年とする（坂出冷蔵倉庫の取組組織拡大に伴う）

*2. 電力のCO₂発生量については、
四国電力の実排出係数0.676(kg-CO₂/kwh)を使用した。
（四国電力発表2014年度実績に基づく）
### 5. 環境活動計画

#### 1) 本社（化成品事業部・管理部（不動産事業含む））

<table>
<thead>
<tr>
<th>環境目標</th>
<th>目的</th>
<th>活動計画</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(1)二酸化炭素</td>
<td>A重油使用量の削減</td>
<td>• 炉の計画的なメンテナンスにより燃焼効率を高める</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| | 電気使用量の削減 |  • 室温のチェック、無駄な電力使用の廃止  
| | |  • 夏場のエコカーテンや遮光カーテンの利用  
| | |  • エアコンフィルタ清掃を年2回実施  
| | |  • クールビズ、ウォームビズ推進 |
| (2)廃棄物 | 燃費の向上 |  • 出張時の公共交通機関の利用推進  
| | |  • エコドライブの励行  
| | |  • 社用車の燃費向上 |
| (3)食品(食品添加物) | 一般廃棄物の削減 |  • 分別、ベーパーレス化  
| 廃棄物のリサイクル率 | |  • 文書管理の徹底 |
| (4)水使用量 | 食品廃棄物の削減 |  • 二次製品再利用法の開発に取り組む |
| | 水使用量の削減 |  • 節水ポスターなどで、節水意識の向上を図る |
| (5)グリーン購入 | グリーン購入 |  • 事務用品に占めるグリーン商品購入金額を40%以上とする |
| (6)環境教育 | 社員啓発活動 |  • 緊急時対応＝消防訓練・A重油漏洩対策対応訓練  
| | |  • 教育訓練年間計画に基づき実施（5S活動含む） |
| (7)組織本来の取組 | 製品の環境配慮 |  • 新商品の開発 |

### 2) 坂出冷蔵倉庫

<table>
<thead>
<tr>
<th>環境目標</th>
<th>目的</th>
<th>活動計画</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(1)二酸化炭素</td>
<td>電力使用量の削減</td>
<td>• デマンド監視装置による確認（デマンド値を下げる）</td>
</tr>
<tr>
<td>(2)廃棄物</td>
<td>廃棄物排出量の削減</td>
<td>• 文書管理（ベーパーレス化）</td>
</tr>
<tr>
<td>(4)水使用量</td>
<td>水使用量の削減</td>
<td>• 節水ポスターなどで、節水意識の向上を図る</td>
</tr>
<tr>
<td>(5)グリーン購入</td>
<td>グリーン購入</td>
<td>• 事務用品に占めるグリーン商品購入金額を40%以上とする</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| (6)環境教育 | 社員啓発活動 |  • 緊急時対応＝消防訓練＝避難訓練実施  
| | |  • 教育訓練年間計画に基づき実施（5S活動含む） |
| (7)組織本来の取組 | 環境配慮 |  • インターリング停止の励行 |
6. 環境実績
1) 本社（化成品事業部・管理部（不動産事業含む））

○取組期間  2017年4月 ～ 2018年3月

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>二酸化炭素の削減 *2</td>
<td>kg-CO₂</td>
<td>1,640,980</td>
<td></td>
<td>1,544,429</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>二酸化炭素排出量／総生産量</td>
<td>kg-CO₂/t</td>
<td>168.32</td>
<td>168.10</td>
<td>195.97</td>
<td>×</td>
</tr>
<tr>
<td>重油CO₂排出量</td>
<td>kg-CO₂</td>
<td>1,426,620</td>
<td>1,382,400</td>
<td>1,312,003</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>重油CO₂排出量／塩マグ生産量</td>
<td>kg-CO₂/t</td>
<td>216.38</td>
<td>216.00</td>
<td>202.63</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>廃棄物排出量の削減</td>
<td>kg</td>
<td>48,610</td>
<td>48,000</td>
<td>43,441</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>食品（食品添加物）廃棄物のリサイクル率 *4</td>
<td>%</td>
<td>100.00</td>
<td>99.50</td>
<td>100.00</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>水総使用量の削減</td>
<td>m³</td>
<td>11,888</td>
<td></td>
<td>8,916</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>水総使用量／総生産量</td>
<td>m³/t</td>
<td>1.22</td>
<td>1.20</td>
<td>1.13</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>グリーン購買の推進</td>
<td>グリーン対象品金額／事務用品金額 (%)</td>
<td>35</td>
<td>40</td>
<td>53</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>組織本来の取組（環境配慮）</td>
<td>件数</td>
<td>3</td>
<td>2</td>
<td>3</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>総生産量</td>
<td>t</td>
<td>9,749</td>
<td>9,400</td>
<td>7,881</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>塩マグ生産量（重油使用製品）</td>
<td>t</td>
<td>6,593</td>
<td>6,400</td>
<td>6,475</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

【評価基準】
○：達成
△：未達成だが、努力が見られる
×：未達成

【コメント】
①原単位（二酸化炭素排出量／総生産量）は未達成となったが、
原単位（重油CO₂排出量／塩マグ生産量）は、目標達成する。
②食品廃棄物リサイクル率は目標達成。
③グリーン購買の推進は目標達成する。
④組織本来の取組（環境配慮）は目標達成する。

* 1. 基準年を2015年とする（坂出冷蔵倉庫の取組組織拡大に伴う）
* 2. 電力のCO₂発生量については、
四国電力の実排出係数0.676 (kg-CO₂ /kwh)を使用した。
（四国電力発表2014年度実績に基づく）
* 3. 2014年東京営業所開設。
他社共有フロアーの1デスクでの営業（常在していない）となるため、環境負荷は極めて小さい。
* 4. 食品廃棄物は、二次製品として全量を再生利用（肥料、植物除草剤等）している。
6. 環境実績
2）坂出冷蔵倉庫

〇取組期間　2017年4月 ～ 2018年3月

<table>
<thead>
<tr>
<th>目的</th>
<th>単位</th>
<th>基準年（2015年4月～2016年3月）</th>
<th>目標（2017年4月～2018年3月）</th>
<th>実績（2017年4月～2018年3月）</th>
<th>評価</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>二酸化炭素の削減＊1</td>
<td>kg-CO₂</td>
<td>625,930</td>
<td>628,698</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>二酸化炭素排出量／売上高</td>
<td>kg-CO₂／千円</td>
<td>5.88</td>
<td>5.75</td>
<td>5.06</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>廃棄物排出量の削減</td>
<td>kg</td>
<td>300</td>
<td>1,100</td>
<td>3,580</td>
<td>×</td>
</tr>
<tr>
<td>水総使用量の削減</td>
<td>㎥</td>
<td>4,950</td>
<td></td>
<td>8,708</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>水総使用量／売上高</td>
<td>㎥／千円</td>
<td>0.046</td>
<td>0.045</td>
<td>0.070</td>
<td>×</td>
</tr>
<tr>
<td>グリーン購入の推進</td>
<td>グリーン対象品金額／事務用品金額（％）</td>
<td>20</td>
<td>40</td>
<td>72</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>組織本来の取組（環境配慮）</td>
<td>件数</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>売上高</td>
<td>千円</td>
<td>106,497</td>
<td>110,000</td>
<td>124,282</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

【評価基準】
〇: 達成
△: 未達成だが、努力が見られる
×: 未達成

【コメント】
① 原単位（二酸化炭素排出量／売上高）は目標達成する。
② 原単位（水総使用量／売上高）は、未達成。
③ 廃油（2,090kg）を処分したため、廃棄物排出量が増大する。
④ グリーン購入の推進は目標達成する。
⑤ 組織本来の取組（環境配慮）は目標達成する。

* 1. 基準年を2015年とする（坂出冷蔵倉庫の取組組織拡大に伴う）
* 2. 電力のCO₂発生量については、
   四国電力の実排出係数0.676（kg-CO₂/kwh）を使用した。
   （四国電力発表2014年度実績に基づく）
7. 環境活動計画の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容

1）本社（化成品事業部・管理部（不動産事業含む））

<table>
<thead>
<tr>
<th>環境目標</th>
<th>目的</th>
<th>活動計画</th>
<th>実施責任者</th>
<th>取組み結果</th>
<th>評価</th>
<th>次年度の取組み</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>A重油使用量の削減</td>
<td>①二酸化炭素</td>
<td>電気使用量の削減</td>
<td>藤井</td>
<td>塩マグ工場内に自動ショートシャッターを設置し、冷暖房の廃止</td>
<td>×</td>
<td>低圧季節別高負荷電力（エアコン）が上昇、本社事務所の空調設備の取替え（補助金申請中）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>出張時の公共交通機関の利用推進</td>
<td>塩田</td>
<td>出張時公共交通機関利用する。</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社での取組を行う（原単位＝総電力量÷電力代上高）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>燃費の向上</td>
<td>塩田</td>
<td>フォーライト社のエコドライブル・トリム等の導入、【速度確認】</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社での取組を行う（原単位＝ガソリン+軽油+灯油÷電力代上高）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>産業廃棄物の削減</td>
<td>喜田</td>
<td>保管・廃棄的適正化の徹底</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社での取組を行う</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>食品廃棄物のリサイクル率</td>
<td>中野</td>
<td>二次利用法の開発</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社での取組を行う</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>水使用量の削減</td>
<td>藤井</td>
<td>節水ポスターの設置、貯水タンクの修繕を行った。</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社での取組を行う</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>グリーン購入</td>
<td>田尾</td>
<td>グリーンマーク社の対象商品の採用が進んでいる。</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社での取組を行う</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>環境配慮</td>
<td>多田</td>
<td>⑦環境対策</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社での取組を行う</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【評価基準】
○: 達成
△: 未達成だが、努力が見られる
×: 未達成
### 7. 環境活動計画の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容

#### 2）坂出冷藏倉庫

<table>
<thead>
<tr>
<th>環境目標</th>
<th>目的</th>
<th>活動計画</th>
<th>実施責任者</th>
<th>取組み結果</th>
<th>評価</th>
<th>次年度の取組み内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(1) 二酸化炭素</td>
<td>電力使用量の削減</td>
<td>- デマンド監視装置による確認（デマンド値を下げる）</td>
<td>石田</td>
<td>デマンド監視装置により上昇時には都度対処する。ドアに毛布を巻きつけ外気侵入を防ぐ。</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社での取組を行う（原単位＝総電力量÷総売上高）</td>
</tr>
<tr>
<td>(2) 毒薬物</td>
<td>毒薬物排出量の削減</td>
<td>- 文書管理（ペーパーレス化）</td>
<td>楠川</td>
<td>資料を紙ベースからデータベースに切り替えていく。毒物（2,090kg）を処分したため、毒薬物排出量が増大する。</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社で取組む - 文書管理の徹底 - 全薬リサイクルの実現</td>
</tr>
<tr>
<td>(4) 水使用量</td>
<td>水使用量の削減</td>
<td>- 節水ポスターなどで、節水意識の向上を図る</td>
<td>小森</td>
<td>節水ポスターを設置する。</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社で取組む - 節水意識の向上</td>
</tr>
<tr>
<td>(5) グリーン購入</td>
<td>グリーン購入</td>
<td>- 会社品に占めるグリーン商品購入金額を40％以上とする</td>
<td>楠川</td>
<td>グリーンマーク・エコ対象商品の継続購入がされている。</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社で取組む</td>
</tr>
<tr>
<td>(6) 環境教育</td>
<td>社員啓発活動</td>
<td>- 緊急時対応訓練＝避難訓練実施 - 教育訓練年間計画に基づき実施（5S活動含む）</td>
<td>合田</td>
<td>10/24避難訓練を行う。</td>
<td>△</td>
<td>次年度も全社で継続して取組む</td>
</tr>
<tr>
<td>(7) 組織本来の取組</td>
<td>環境配慮</td>
<td>- アイドリング停止の励行</td>
<td>石田</td>
<td>アイドリング停止のポスター掲示。業者ドライバーへの声掛けを行う。</td>
<td>△</td>
<td>次年度より全社で取組む - 環境配慮 - 新商品開発</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【評価基準】
〇: 達成
△: 未達成だが、努力が見られる
×: 未達成
＜緊急時対策訓練＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>実施時期</th>
<th>訓練内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2017年10月24日</td>
<td>（避難訓練）</td>
</tr>
<tr>
<td>（対象：坂出社員）</td>
<td>・緊急時の避難訓練</td>
</tr>
<tr>
<td>＜訓練実施の様子＞</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 2018年3月30日 | （消防訓練） |
| （対象：全社員） | ・火災時の実施訓練（避難、通報、消火） |
| ＜訓練実施の様子＞ | ・火災時の手順書の検証 |

※避難訓練  ※通報訓練  ※消火訓練

| 2017年12月25日 | （A重油漏洩対策 対応訓練） |
| （対象：生産課） | ・A重油漏洩時の手順書の検証 |
| | ・A重油漏洩時の拡散防止処置の実地訓練 |
| ＜訓練実施の様子＞ |

※配管の漏れを止める作業

＜環境教育＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>実施時期</th>
<th>訓練内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>定期</td>
<td>＜5S活動＞</td>
</tr>
<tr>
<td>（対象：全社員）</td>
<td>①社内清掃</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>②社外周辺の清掃</td>
</tr>
<tr>
<td>＜訓練実施の様子＞</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

①

②
8. 環境関連法規等の遵守事項の確認

1. 違反、訴訟の有無
当社において、環境関連法の遵守状況をチェックした結果、環境関連法規の違反はありません。また、各関係機関からの違反、訴訟の指摘、外部からの訴訟及び苦情等もありません。

・環境関連法規等の遵守状況
法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りである。
適用される法規 遵守すべき事項 遵守・評価

<table>
<thead>
<tr>
<th>適用される法規</th>
<th>遵守すべき事項</th>
<th>遵守・評価</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>化審法</td>
<td>一般化学物質の輸入（1トン以上）</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>勞働安全衛生法</td>
<td>勞働者の安全と健康の確保</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>毒物及び廃物取締法</td>
<td>毒物及び廃物の販売</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>消防法</td>
<td>指定数量未満の危険物保管の扱い</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>高圧ガス保安法</td>
<td>高圧ガス容器・置場や充てん容器、容器置場の技術上の基準に従う。</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>食品衛生法</td>
<td>営業の許可認可及び専任の食品衛生管理者の設置</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>廃棄物処理法</td>
<td>一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ・廃油等）の適正処理、</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>廃棄物の収集、処理委託基準の遵守</td>
<td>産業廃棄物の年間集計と知事報告</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>食品リサイクル法</td>
<td>平成23年度を基準に事業者ごとの再資源化率の目標達成を目指す</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>大気污染防止法</td>
<td>事故時の措置と届出</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>排出基準の遵守</td>
<td>排出濃度の測定・記録（3年保存）、監視</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>オフロード法</td>
<td>基準に適合した特定特殊自動車の使用</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>净化槽法</td>
<td>使用届</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>フロン類の登録充填回収業者のによる適切な引き渡し</td>
<td>○</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フロン類回収時の委託確認書交付と引取証明書の保存（3年間）</td>
<td>○</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>引取証明書が30日以内に送付されない場合の知事への報告</td>
<td>○</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>グリーン購入法</td>
<td>できる限り環境商品等を選択するよう努める</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>香川県環境基本条例</td>
<td>公害の防止その他の環境への負荷の低減又は自然環境の適正な保全のために必要な措置</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>三豊市環境基本条例</td>
<td>事業活動で生じる汚水、汚水、廃棄物等の処理及び公害防止</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>坂出市環境基本条例</td>
<td>事業活動で生じる払い煙、汚水、廃棄物等の処理及び公害防止</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>地域環境の美化（空き地、吸い殻等の投棄および犬のふんの放置を防止する）</td>
<td>○</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>レビュー項目</td>
<td>代表者の評価及び指示事項</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>--------------</td>
<td>--------------------------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>二酸化炭素削減</td>
<td>A業種は、前年からの削減率を維持し、目標を達成することができた。引き続き定期的なメンテナンスを行う。坂出冷蔵倉庫は、ドアに毛布を巻きつける等外気侵入を防ぐことが出来た。全体の二酸化炭素削減については、次年度は全社で評価出来るよう指標を検討する。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>廃棄物削減</td>
<td>文書管理（パスケースからデータ保護）の徹底。データ共有により印刷物の削減、分別により廃棄物をリサイクル品として処分する。資材管理も定期的なSSによりロス・ミスが削減できた。次年度は全社で評価出来るような指標を検討する。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>食品リサイクル率の向上</td>
<td>二次製品再利用のテスト散布を行う。次年度も二次製品再利用の開発に取り組む。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>水使用量の削減</td>
<td>筒水ポスター掲示等で筒水意識が高まった。次年度は全社で評価出来るような指標を検討する。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>環境教育</td>
<td>坂出冷蔵倉庫の避難訓練を行うことが出来た。（毎年行う）教育訓練目標達成に向け、次年度も継続して取り組む。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>組織本来の取組</td>
<td>坂マグ工場内の自動シートシャッター設置による製品への防塵、防虫、環境対策が実施された。アイピングストッブポスター提示により二酸化炭素の削減に向けた。二次製品再利用のテスト散布が行った。次年度も全社で新商品開発等環境対策に取り組む。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>東京営業所に対し、他社共有フロアの1デスクでの営業が可能で、環境負荷を極めて小さく、当該社員によるE21の取組に関する理解徹底させ、取組みを行なうよう指示する。</td>
<td>全社SS活動により、周辺の環境整備に努める。</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

①環境活動の実施状況及び環境目標の達成状況

現在のシステム | 無 | 現在のシステムが有効に機能していることを確認した。 |
推進体制の見直しの必要性 | 無 | 従来通り、各課責任者の協力を得ること。 |
環境方針の見直しの必要性 | 無 | 今期も継続する。 |
環境目標の見直しの必要性 | 無 | 2015年を基準年として3年間の目標を立てる。 |
登載範囲の見直しの必要性 | 無 | 2016年より坂出冷蔵倉庫・東京営業所が登載範囲となり、全社で取り組む。 |

EA21への継続的な取組みにより社員の環境に対する意識向上が徐々に図られてきました。2016年度からの坂出冷蔵倉庫および東京営業所を登載範囲に含めたことにより、全社的な取り組みとなり社員全員参加の基礎が出来上がったと感じます。部門ごとの環境に関する状況は異なりますが、他部門の成功事例など改善効果の高かった施策を参考にしたり取り入れるなどして、より高い効果を求めるようにしましょう。廃棄物に関しては、近年、輸入原料のトン数やヘッテッドが増加し、さらに増える見込みです。これらの廃棄に関しては、再生利用を含め、意識して廃棄物削減に努めてください。設備の改善等ハード面は必要ですが、より大事なことはソフト面での改善になります。エアコンフィルターの定期清掃・エコドライタ・不適合品の削減・Reuse・Reduce・Recycle・レスキュービス・フォームビス・SSの徹底等々、ソフト面での改善をしていきましょう。このことは組織内部の活性化にもつながりますし、これからもみんなで知恵を出し合い効果的なEA21に育て上げてくれるよう期待します。